



佐藤 智樹総院長
(前列中央)

【プロフィール】熊本大学医学部卒。熊本大学病院、熊本市市民病院、出田眼科病院で眼科の基礎を学び、現在まで10,000件以上の手術実績あり。白内障・緑内障・屈折矯正が専門。

佐藤眼科グループでは、眼科一般治療をはじめ、難治例や重症例に関しては各分野の眼科専門医が診断、薬物治療、手術までチーム医療で対応し、年間3000件以上の手術を実施しています

基本的には、手術は片眼ずつ行われますが、仕事で早く社会復帰したい人や遠方で通院が難しい人、両眼同時手術や低侵襲の手術も... 緑内障手術や硝子体手術を専門的に行う佐藤眼科では、白内障手術と同時に緑内障や黄斑上膜の手術(硝子体手術)も行うことができます。黄斑上膜とは、ものを見る中心部分に膜が張ってくる病気で、視力が落ちたり、ものが歪んで見えます。人には、「両眼同時手術」も行っています。また、緑内障手術では、目に対するストレスを軽減した手術(MIGS※)が主流になってきています。「患者への負担が少なく、術後の合併症が少ないため、日帰り手術しやすい」というメリットの多い手術方法です。佐藤総院長。同院では、病状や患者の生活環境まで配慮した治療を提案しています。「セカンドオピニオンも受け付けているので、気になることがあれば、気軽に問合せてください」。

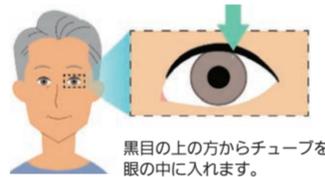
患者の負担を軽減する

「MIGS」(ミグス/低侵襲緑内障手術)

MIGSのメリット

- ①手術時間が短く術後の回復が早い
②眼圧が下がり点眼が減る
③緑内障の進行を遅らせる
④合併症が少ない
⑤日帰り手術

マイクロシャントを入れる場所



佐藤眼科グループでは、2種類のMIGSを実施

①マイクロフットラベクトミー

黒目(角膜)の周りにある線維柱帯(水の出口)を切開することで眼圧を低下させる手術。わずか1mm程度の創から手術が可能。5分ほどの手術で、中等度の緑内障に適用。

②マイクロシャント濾過手術

2022年から国内で使用できるようになった新しい濾過手術で、細いチューブを目に挿入して眼圧を下げる手術(上図)。比較的進行してしまった緑内障に適用。

自分の眼の健康を守るために

佐藤眼科熊本の「眼科ドック」を受けてみませんか?

- 国家資格を有する視能訓練士と看護師が行い、専門医が的確に診断
●一般眼科外来と多くの専門外来をそなえ、ドック受診後の治療もスムーズに

Table with 2 columns: Eye condition (e.g., 緑内障, 加齢黄斑変性) and Exam details (e.g., ①問診, ②視力眼圧検査).

眼科ドックはこのように人にオススメです

- 40才を過ぎた
□3年以上、眼科を受診していない
□緑内障の血縁者がいる
□強度の近視がある
□パソコンやスマホで目を酷使している

眼科ドックは【予約制】です

眼科一般診療から高度手術治療まで「日帰り手術」で新しい医療を身近に



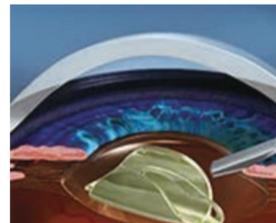
今年の5月、JR熊本駅新幹線口すぐに開院した「佐藤眼科熊本院」。荒尾、大牟田に続くグループ3院目となる同院では、専門の検査・手術設備をそなえ、4人の眼科専門医によるチーム医療を実施しています。今回は、佐藤総院長に同院が実施している白内障とその治療法、手術についてお話を伺いました。

医療法人 樹尚会 佐藤眼科 熊本

進化する「白内障」の治療
近視・乱視・老眼も同時に治せる時代へ
水晶体が濁り、視力が低下する「白内障」。60歳代で70%、80歳以上になると、ほぼ100%の人が白内障による視力低下が認められます。根本的な治療は手術しかありませんが、手術すれば視力は回復できます」と佐藤総院長。手術自体も10分程度で、リスクもほとんどないとのこと。さらに、最近の白内障手術では、手術自体の進化はもうそろそろ、眼内レンズの進歩もあり、近視や乱視、多焦点レンズを使えば、老眼も治せるようになります。眼内レンズは、ピンポイントが1カ所に合う単焦点レンズ、ピンポイントが数カ所に合う多焦点レンズがあります。老眼鏡なしで生活できるようにする多焦点レンズは、夜間の光がにじんだりする「グレア・ハロー」の問題もあり、まだ完璧なレンズとはいえません。現在の目の状態や、術後の生活環境などを踏まえて、「理想の見え方を主治医に相談する」と良いでしょう」と、佐藤総院長は呼びかけます。

通常の白内障手術のステップ

- ①角膜切開→ ②前嚢切開(水晶体を包んでいる嚢【のう】の前面に丸い開口部を作成)→ ③水晶体の乳化吸引→ ④眼内レンズ挿入



手術は10分ほどの痛みはない手術ですが、不安が強い人は笑気ガスで気分を落ち着かせて手術を行います。

【④イメージ】眼内レンズは眼の中でゆっくりと開きます

ニーズに合わせて選べる白内障治療のレンズ

【単焦点レンズ】

通常の白内障手術で使用する眼内レンズ
□ピンポイントが1箇所にぴったり合う
□乱視がある場合は、ある程度乱視は治療可能
※軽度の乱視や特殊な不正乱視までは治せない

【多焦点レンズ】

ピンポイントが2箇所以上合う、メガネなしでより快適な生活ができるように開発されたレンズ
□遠方と近方などの広範囲にピンポイントが合う
※単焦点眼内レンズに比べピンポイントがやや甘い
※夜間に車の対向車などのライトがにじんで見えたりする(グレア・ハロー)などの欠点あり

佐藤眼科では、高度な白内障手術も対応可能

白内障の中には、進行した白内障や特殊な白内障があり、治療するには「硝子体手術」や「眼内レンズを眼球に固定する「強膜内固定術」という難易度の高い手術が必要になります。「当院では、熊本大学病院で長年網膜疾患と佐藤総院長。の専門家として診療を行ってきた川路総院長が難易度の高い白内障手術を執刀しており、良好な成績をおさめています。手術が難しいと言われた方も、ぜひご相談ください」と佐藤総院長。

選定療養のほか、自費診療の多焦点眼内レンズも取り扱っているため、患者のニーズに合わせた手術が可能です。

◎ 診療時間 [完全予約制]

Table showing clinic hours for different days of the week (月, 火, 水, 木, 金, 土).

休診日/日曜・祝日 ※水曜午後は手術のみ

電話予約 096-326-2500

(受付時間/月~金 9:00-17:00、土 9:00-12:00)

Web予約およびInstagramはこちら



Web予約 Instagram

医療法人 樹尚会



佐藤眼科 熊本 SATO eye clinic KUMAMOTO

〒860-0047 熊本市西区春日3-24-1 JR熊本春日北ビル1階

